

## 受け継がれる技術技能

株式会社きんでん 人材開発部 志水 優太

### 1. はじめに

私は、2019年8月にロシア・カザンで開催された第45回技能五輪国際大会の情報ネットワーク施工職種で金メダルを獲得することができた。技能五輪とは、青年技能者の技能向上と参加者の親善、交流を目的にしている技能労働者の技能を競う大会である。日本では毎年各県で全国大会が開催され、2年に一度国際大会が開催される。

私が参加した情報ネットワーク施工職種とは、構内や宅内の情報配線システムの構築とシステムの異常個所の特定など、情報通信のインフラ整備を行う職種である。競技の中で光ファイバーケーブルの施工があり、光ファイバーは一本の太さが0.1ミリほどしかなく、繊細な取り扱いが求められる。

### 2. 技能五輪全国大会への挑戦

ここで私が技能五輪に挑戦するきっかけを記す。私が株式会社きんでんに入社したのが2015年である。入社後直ぐに新入社員教育があり、そこで技能五輪を見学する機会があった。私は技能五輪選手が訓練している姿に釘付

けになった。私から見ると、無駄が無く作業も早く「凄い！」の一言であった。私も技能五輪に挑戦したいと思ったのである。私はどうすれば技能五輪選手になれるのか分からなかったが、指導員から研修期間中に技能五輪の選抜があると聞き、研修に真面目に取り組み、技能五輪の面接では自身を猛アピールした。そして私は技能五輪の候補生として訓練を受けることになった。

1年目に何とか予選を突破し、技能五輪全国大会に出場する事ができた。しかし、結果は散々であり、緊張で何もできず時間だけが過ぎ去った感じであった。指導員からは1年目で結果が残せるほど技能五輪は甘くない、悔しい気持ちがあるのなら訓練に活かせと言われた。

2年目の挑戦では、訓練で妥協せず、今しかできない技能五輪にがむしゃらに取り組んだ。



その甲斐あってか2年目の技能五輪全国大会では、失敗こそあったが金賞を獲得することができた。表彰式ではとても喜び、少しはしゃいでいた。指導員も喜んでくれると思っていたが、違っていた。

今でも覚えているが、指導員からは、これで喜んでいたら来年の国際大会が懸かる全国大会で負けてしまう。今回は取らせてもらったのだ。次回は取らなければならない。この違いは私にはまだ分からなかったが、3年目の訓練は今までやってきた訓練より更にしんどいものであった。

1分1秒でも無駄を無くした作業など、細かな指や手の動きまで、指導員と一緒に考え自分自身が納得できるまで訓練を積み重ねた。

そうして迎えた3回目の技能五輪全国大会。開催は沖縄県であった。大会は11月であったが蒸し暑く、作業中は汗だくであった。作業は順調に進んだが、最終日に迷いが出てしまった。情報ネットワーク施工職種では、課題が選択制であり高得点を狙うためには、より多くの作業に取り組まなければならない。また、1日目の点数が最終日に公表となり、私の1日目の順位は2位であった。

最終日の作業では、今想定している作業で高品質を狙うのか、少し品質を落としてでも課題に多く取り組むか悩んでいた。そこでコンタクトタイムというのがあり、選手と指導員が相談できる時間が設けられていた。指導員からは金賞を取りに行く。だから高品質のまま多くの作業に取り組めと言われた。ここで初めて昨年の指導員からの言葉の意味が分かった。私は決心して最後の課題に取り組んだ。表彰式の金賞で私の名前が発表された時は、嬉しさもあったが、やり切った感が大きかった。表彰式が終わり指導員に駆け寄った時に、今までしんどかった事や辛かった事が爆発したのか、指導員の顔を見て大泣きしてしまった。指導員も一緒に喜

び、一緒に泣いてくれた。そして初めて褒めてくれたのであった。そして次のステージである技能五輪国際大会への挑戦となった。



### 3. 技能五輪国際大会への挑戦

国際大会に向けての訓練では、会社の上司がエキスパートとして大会に参加してくださり、指導員としては、これまでの国際大会で金メダルを獲得された2人の先輩がかかわり、とても心強かった。訓練は海外の材料に慣れることから始まり、当日の公開課題への対応力、英語の読解力の強化など、課題も多かったが、勝つために出来る事を全員で考えた。訓練中には、プレッシャーや孤独感があり、辛かったが、会社や指導員、家族のサポートがあり、最後まで乗り越える事ができた。

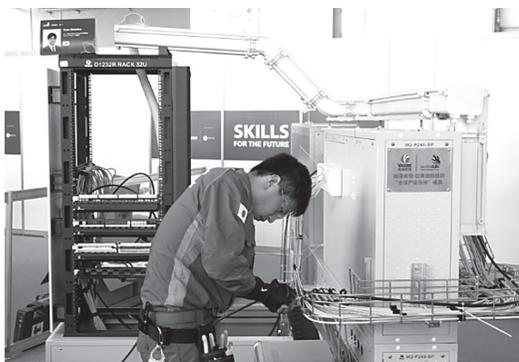
国際大会本番は、大きな会場に世界各国から多くの人が集まり、今までに経験した事のない独特の雰囲気であった。4日間の競技のうち1日目と2日目は会場の雰囲気に吞まれてしまい思うように作業ができなかった。落ち込んでみると、エキスパートである上司に、「まだ諦めたらあかん、最後までやり切ろう」と言われ、自分一人で作業していると勘違いしていたことに気がついた。これまで会社や家族のサポートがあったからこそ技能五輪に挑戦できたのだと強く感じた。

その後は気持ちを切り替えて、3日目と4日

目は落ち着いて作業することができた。4日間  
で17時間以上もあった競技が終わった時には  
疲労困憊だったが、やり切ったという思いが強  
かった。

閉会式では上位入賞国がステージに呼ばれ、  
銅メダルから発表されていった。

情報ネットワーク施工職種の発表になり、ス  
クリーンに日本、ロシア、中国が表示され、銅  
メダル以上が確定となった。ステージ脇で結果  
を待っていると、銀メダルで中国とロシアの名  
前が呼ばれ、金メダルで私の名前が呼ばれた。  
私は自然にガッツポーズをして表彰台上がった。  
表彰台からの景色は今までの苦労をすべて  
吹き飛ばすくらいの感動があった。更に日本人  
選手最高得点者に与えられるベストオブネー  
ションも受賞し、情報ネットワーク施工職種  
では日本が8連覇したのであった。



金メダルを受賞できたことの大きな要因とし  
て指導員や会社のサポートがあるが、私が勤め  
ている株式会社きんでんでは長年技能五輪に参  
加しており、多くの先輩方が大会で入賞し、国  
際大会で金メダルを獲得している。その知識と  
経験が今の私たちに受け継がれ、技能向上に繋  
がっている。指導員も選手を勝たせるために全  
力で指導してくださり、楽しいことも苦しいこ  
とも共有してきたからこそ、チーム一丸となっ  
て挑戦できたのである。

私は技能五輪を通して学んだことがいくつあ  
る。

まず1つ目は目標を持つことの大切さであ  
る。学生の時大きな目標もなく毎日授業を受  
ける日々であったが、入社後技能五輪を知り、  
自分も挑戦したい、国際大会で金メダルを獲  
りたいという大きな目標ができた。目標ができた  
ことにより毎日の訓練を大事にし、どうやっ  
たら次はできるかを考え、モチベーションにも繋  
がったのである。夢や目標が持てない人が増え  
ているが、夢や目標を見つけるには、とにかく  
色々なことに挑戦することであり、自分にはで  
きない、今のままが楽でいいという考えではな  
く、少しでも興味があれば挑戦する気持ちが  
大切である。私も高校では電気科であって情報通  
信の分野は全く知らなかったが、技能五輪で自  
分の知らない情報通信分野を知って、初めは何  
も分からないがやってみみたい気持ちだけで挑戦  
した。

2つ目は、周りに感謝して行動することであ  
る。技能五輪に出場するためには、1人だけの  
力では無理で、指導員や会社、家族や友人の支  
えがあってこそ挑戦ができ、初出場の大会で入  
賞できなかった時、指導員や会社の方々に「来  
年頑張ろう！」と声を掛けられた。普段会わ  
ない社員の方々にも「応援しているよ！」と言  
われ、自分が知らないところで多くの人から  
応援され、支えられているのだと知った。それ  
までは自分のためだけに努力していたと思う。  
周りの環境に感謝し、応援してくれる人のた  
めにも絶対に金メダルを獲ろうと思うよ  
うになったの



である。その思いが私の目標になり、支えになった。訓練で上手いかず、挫けそうなきはその気持ちを思い出し、前に進むことができ、より一層努力できたと思う。目標だった金メダルを受賞できた時は、目標を達成した喜びと、周りの人が自分のことのように喜んで下さり、本当に諦めずにやってきてよかったという気持ちである。周りに感謝するというのはよく



聞かすが、実感するのは難しい。私は感謝とは、ただ受け取るだけのものではなく、それに對し、自分がどう行動したかが重要なのだと考えている。技能五輪を通じ、周りに感謝すること、周りのために行動することの重要性を学んだ。

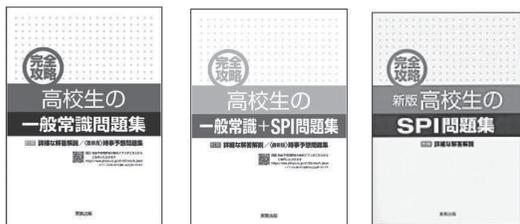
#### 4. 最後に

現在、私は後進の育成に携わらせていただいている。自分が培った技能と経験を後輩に伝えるとともに、技能五輪を通じ、人としても成長することのできる人材育成に力を入れていきたいと考えている。また、技能五輪のことをより多くの方に知っていただき、日本の技術・技能の向上に努めていきたいと思う。

完全  
攻略

## シリーズのご案内

就職試験対策 2～3年生向け



就職試験対策 1～2年生向け



一般常識問題集 時事問題アプリ

- ▶最新年度の時事問題をスマホやタブレットで練習できる
- ▶間違えた問題だけを解いたり、苦手問題を登録したり、便利機能満載
- ▶ブラウザアプリなので、ストアからのインストール不要

Sample



実教出版 株式会社

〒102-8377 東京都千代田区五番町5 TEL: 03-3238-7777 FAX: 03-3238-7755